

貸 借 対 照 表

2023年 3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,249,042,737	流動負債	1,770,483,399
現金及び預金	145,862,840	買掛金	1,007,308,603
受取手形	231,557,544	リース債務	888,534
電子記録債権	654,926,721	未払金	441,540,736
売掛金	2,248,733,081	設備未払金	72,046,700
製品	678,469,199	未払費用	37,651,087
原材料	442,546,753	未払法人税等	68,677,000
貯蔵品	50,645,988	前受金	947,720
前払費用	1,924,921	預り金	2,875,219
未収入金	106,404,361	賞与引当金	138,547,800
前渡金	1,010,560		
預け金	687,960,769		
貸倒引当金	△ 1,000,000		
固定資産	982,424,194	固定負債	789,411,901
有形固定資産	621,013,004	長期リース債務	1,817,864
建物	97,286,997	退職給付引当金	26,717,766
構築物	170,181,397	役員退職慰労引当金	15,150,000
機械及び装置	304,084,513	預り保証金	745,726,271
車両運搬具	1,122,667	負債合計	2,559,895,300
工具器具備品	36,847,430		
建設仮勘定	11,490,000		
無形固定資産	21,913,338	(純資産の部)	
ソフトウェア	16,323,569	株主資本	3,663,568,374
特許権	1,468,164	資本金	300,000,000
その他無形固定資産	4,121,605	資本剰余金	2,313,091,298
投資その他の資産	339,497,852	資本準備金	2,313,091,298
投資有価証券	66,690,500	利益剰余金	1,050,477,076
子会社株式	141,563,461	繰越利益剰余金	1,050,477,076
出資金	630,000	(うち当期純利益)	(174,431,814)
長期前払費用	1,851,371	評価・換算差額等	8,003,257
繰延税金資産	72,573,862	その他有価証券評価差額金	8,003,257
固定化売掛金	1,395,619	純資産合計	3,671,571,631
長期差入保証金	56,188,658		
貸倒引当金	△ 1,395,619	負債及び純資産合計	6,231,466,931
資産合計	6,231,466,931		

(注)

- | | | |
|----------------------|-------------------|------------|
| 1. 重要な会計方針は別記しております。 | 4. 支配株主に対する短期金銭債務 | 57,536,160 |
| 2. 有形固定資産の減価償却累計額 | 5. 子会社に対する短期金銭債権 | 45,571,577 |
| 3. 支配株主に対する短期金銭債権 | 6. 子会社に対する短期金銭債務 | 3,149,158 |

個別注記表

計算書類の作成に当たって採用した重要な会計処理の原則及び手続きは次の通りであります。

(収益認識に関する注記)

1. 「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

市場性のある有価証券

時価基準：移動平均法（売却原価）
（評価差額は資本直入法）

市場性のない有価証券

原価基準：移動平均法

- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品

原価基準：総平均法による原価法に基づく低価法
（貸借対照表価額は収益低下による簿価切り下げの方法により算定）

原料、貯蔵品

原価基準：総平均法による原価法に基づく低価法

未成工事支出金

原価基準：個別法

2. 固定資産の減価償却方法

- (1) 有形固定資産

: 定額法

- (2) 無形固定資産

: 定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込
利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

- (3) リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引

: 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引

: リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

3. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金

: 期末現在に有する売掛金、貸付金その他これらに準ずる債権の
貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績
率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可
能性を検討し、回収不能見積額を計上しております。

- (2) 賞与引当金

: 従業員に支給する賞与に充てるため、支給見込額を計上して
おります。

- (3) 退職給付引当金

: 従業員の退職給付に充てるため、当期末における退職給付債務に
基づき計上しております。

- (4) 役員退職慰労引当金

: 役員の退職慰労金に充てるため、役員退職慰労金支給内規に基
づき計算した要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

商品又は製品の販売に係る収益は、主に卸売又は製造等による販売であり、顧客との販売契約に基づいて商品又は製
品を引き渡す履行義務を負っております。当該履行義務は、顧客が当該商品又は製品に対する支配を獲得した時点で、
商品又は製品と交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識しております。

当社が代理人として商品の販売に関与している場合には、純額で収益を認識しております。

波板事業における工事については、履行義務の進捗度に応じて収益を認識しております。また、履行義務の充足に係る
進捗度の見積り方法については見積り総原価に対する発生原価の割合（インプット法）で測定しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- (1) リース取引の処理

: リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の
ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係
る方法に準じた会計処理によっております。

(株主資本等変動計算書に係る注記)

1. 当事業年度末の発行済株式の種類及び総数

普通株式 6,000株

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2022年6月15日 定時株主総会	普通株式	99,558	16,593	2022年3月31日	2022年6月16日
計		99,558			

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

2022年6月15日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次の通り提案しております。

- ①配当金の総額 99,558千円
- ②1株当たり配当額 16,593円
- ③基準日 2022年3月31日
- ④効力発生日 2022年6月16日